



NECの谷口邦弘と井上哲夫がMSFより 「Circle of Excellence Award」を受賞

2008年12月3日
日本電気株式会社

本年12月2日～4日バハマ・ナッソーにて開催された国際機関「MSF(MultiService Forum)」の会合にて、NECの谷口邦弘(たにぐち くにひろ)と井上哲夫(いのうえ てつお)がMSFの「Circle of Excellence Award」を受賞しました。MSFは、次世代ネットワーク(NGN)やオープンアーキテクチャの標準化を推進する機関であり、同賞はNECとして初受賞となります。

Circle of Excellence Awardは、MSFが2年に一度主催する相互接続検証試験「GMI2008(Global MSF Interoperability)」に参画したベンダの中から、特に功績が認められた個人に対し贈られる賞であり、NECの2名はIMSベースIPTV、QoS制御(注1)、SOA(注2)の相互接続検証における貢献が認められました。谷口邦弘は、MSFが規定するIPTVテストシナリオとインタフェース文書のエディタとして文書の作成と各社実装条件の取りまとめを担当し、IMS製品、IPTV製品の相互接続のための実装条件の技術的な研究を主導しました。一方、井上哲夫はNECが参加したボストンにあるVerizon社提供サイトにて、同サイトに参加した通信機器ベンダから提供された各社製品との相互接続試験を担当し、IMSベースIPTVのVoD、QoS制御、SOAの相互接続検証を実行しました。今回NECの2名がVerizon社からの推薦を受けCircle of Excellence Awardを受賞したことは、IMS、IPTV等の普及・高度化を進めるNECの取り組み、および本人の優れた資質が評価されたものと考えております。

「GMI2008」は、NGN関連の最新の国際標準規格を実装した各社の機器を、マルチベンダ環境で相互接続性を検証することにより、NGNのグローバルスタンダード化を推進するものです。検証試験は本年10月20日から31日の間、米国(3ヶ所)・英国(1ヶ所)・中国(1ヶ所)の計5サイトにて実施され、世界の主要な通信機器ベンダ20社(注3)が製品を提供し検証試験に参加しました。NECはGMI2008にNGN及びIPTV関連ソフトウェアとして「NC5000シリーズ」、「NC7000シリーズ」、「NC9000シリーズ」(注4)、QoSルータ等を提供しました。

なお、NECは、本年12月4日-5日にシンガポールで開催される「IPTV World Forum Asia 2008」に参加します。本フォーラムで、NECはGMI2008の結果紹介並びにIPTVソリューションについて講演を行います(注5)。また、同フォーラム内の自社展示ブースでIMSベースIPTVソリューションを紹介します。

以上

(注1)

QoS(Quality of Service)制御: サービス品質制御

(注2)

SOA (service-oriented architecture): サービス指向アーキテクチャ

(注3)

Acme Packet, Alcatel-Lucent, Codenomicon, Empirix, Fujitsu, Huawei, Ixia, JDSU, Motorola, MuDynamics, NEC, Nokia-Siemens Networks, Nortel, OSI, Sonus, Spirent, Starent, Tekelec, Tektronix, Telchemy, Teles, ZTE

(注4)

NC5000シリーズ: NGNにおけるQoS制御機能とアクセス認証機能を提供

NC7000シリーズ: NGNサービスのためのプラットフォーム機能を提供(IMSベースIPTVサービスの中核となるVODサーバを含む)

NC9000シリーズ: NGNのセッション制御等のIMS機能を提供

(注5)

日時: 12月4日(水)14:40-15:00

テーマ: IMS-based IPTV; Making Superior Technology a Reality

■ MultiService ForumのWebサイト

URL:  <http://www.msforum.org/>



このページに掲載されているプレスリリースその他の情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

Copyright © NEC Corporation 1994-2024. All rights reserved.